

# 平成 18 年度一般廃棄物処理事業の概要

## こみ

国の集計方法が改められたことから、今回の取りまとめより、過去のデータを含め次のとおり修正しました。

【前回まで】ごみ総排出量 = 収集ごみ量 + 直接搬入量 + 自家処理量

【今回より】ごみ総排出量 = 収集ごみ量 + 直接搬入量 + 集団回収量

### 1 ごみの排出状況

(1) 平成 18 年度の県全体のごみ排出量（市町村や一部事務組合のごみ処理施設に搬入された量の合計）は、512 千トンで、この量は、東京ドームの約 1.4 杯分、岩手県庁舎を拵に例えると約 20 杯分に相当。（東京ドームの容積 1,240 千m<sup>3</sup>、県庁容積 85 千m<sup>3</sup>、ごみの比重 0.3 t/m<sup>3</sup>として算出）

平成 8 年度以降、増加が続いていたが、15 年度から横ばいで推移。

(2) 県民一人 1 日当たりの排出量は 1,013 g（1 年間では一人約 370kg のごみを排出。）で前年度から 1.0% 減少した。（昭和 58 年以来 23 年ぶりの減少。）

(3) 全体排出量 512 千トンのうち 352 千トンが生活系ごみ、160 千トンが事業系ごみと推計。事業系ごみは、13 年度以降横ばい又は減少傾向で推移。増加が続いていた生活系ごみも 16 年度～18 年度は横ばいの状況。生活系ごみについては、県民一人 1 日当たり 696 g、年間約 254kg を排出。

表-1 ごみ排出量の推移

	14年度		15年度		16年度		17年度		18年度	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
総人口(人)	1,419,278	99.6	1,412,235	99.5	1,406,071	99.6	1,397,240	99.4	1,386,378	99.2
ごみ排出量(t)	508,780	101.6	519,185	102.0	521,154	100.4	521,499	100.1	512,448	98.3
うち生活系ごみ	335,677	101.6	341,319	101.7	352,694	103.3	353,248	100.2	352,342	99.7
うち事業系ごみ	173,103	101.7	177,866	102.8	168,460	94.7	168,251	99.9	160,106	95.2
一人1日ごみ排出量(g)	982	102.0	1,004	102.3	1,015	101.1	1,023	100.7	1,013	99.0
うち生活系ごみ	648	102.0	660	101.9	687	104.1	693	100.8	696	100.4

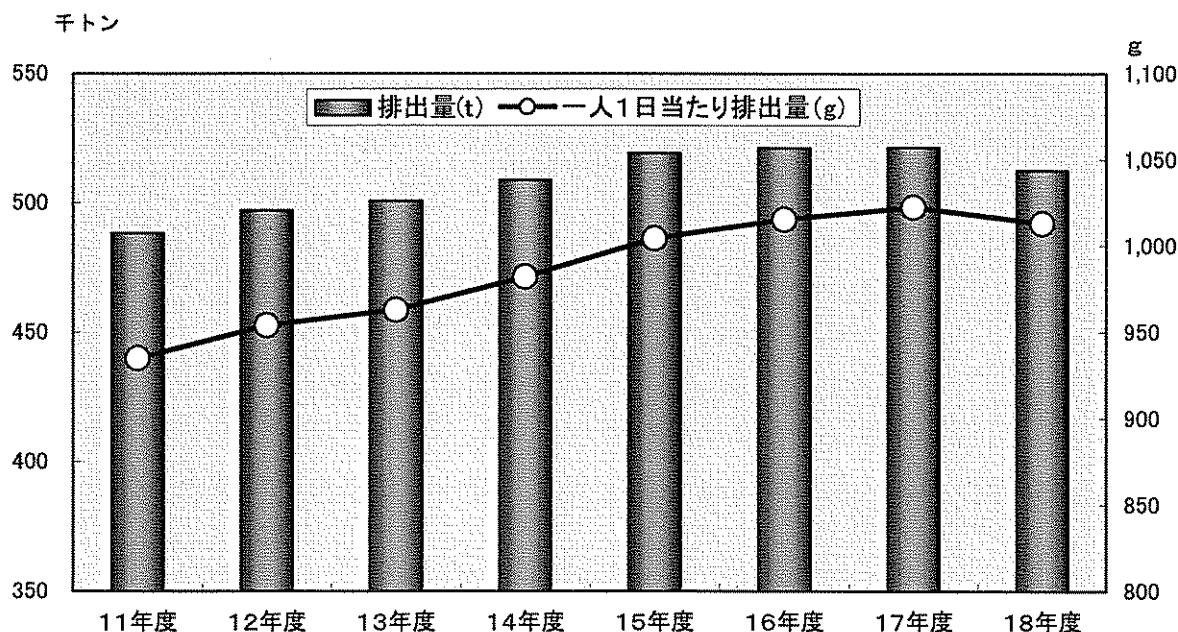


図-1 ごみ排出量と一人1日当たり排出量の推移

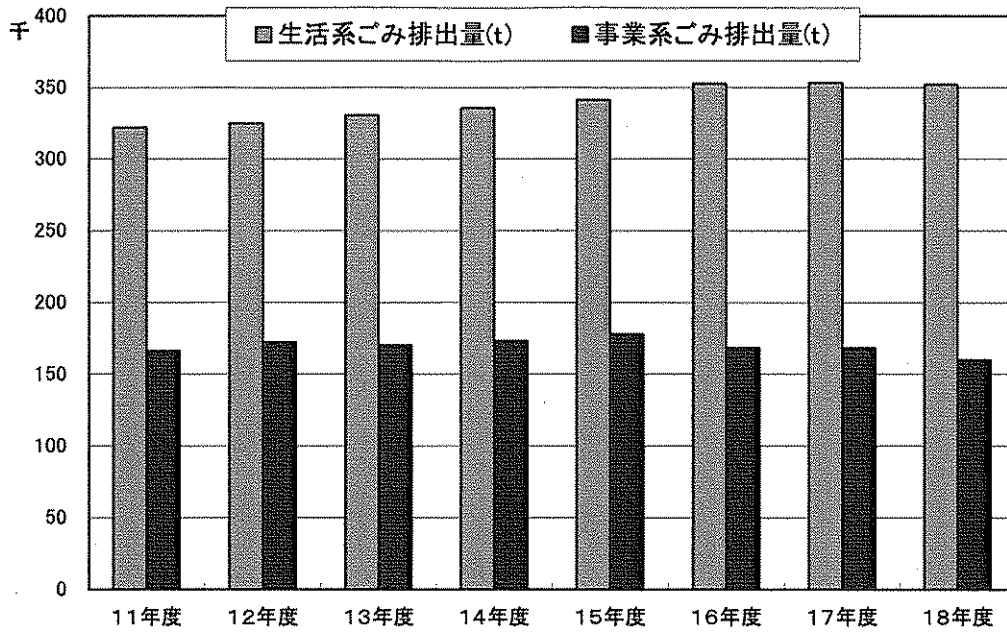


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出量の推移

(4) 各市町村の一人1日当たり排出量の推移は、図-3 (1) ~ (3) のとおり。

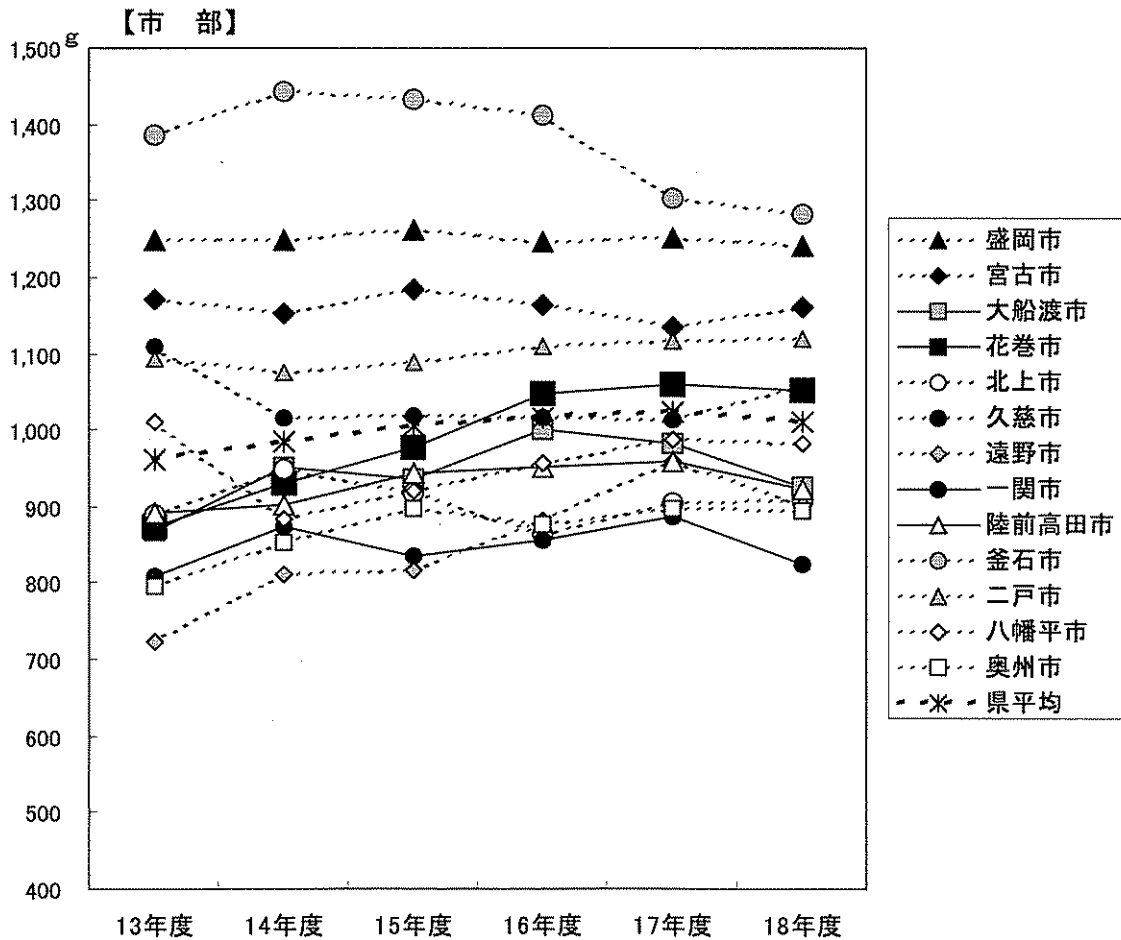


図-3(1) 市町村の一人1日当たり排出量の推移

【町村部】

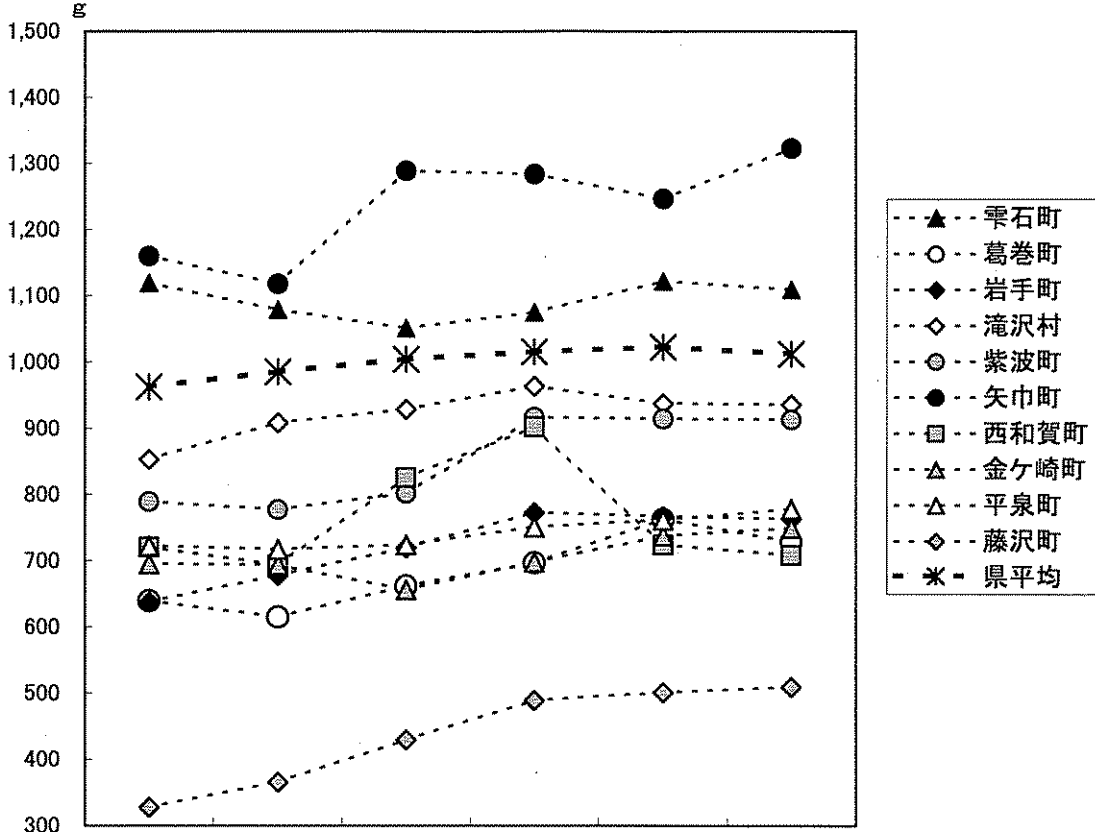
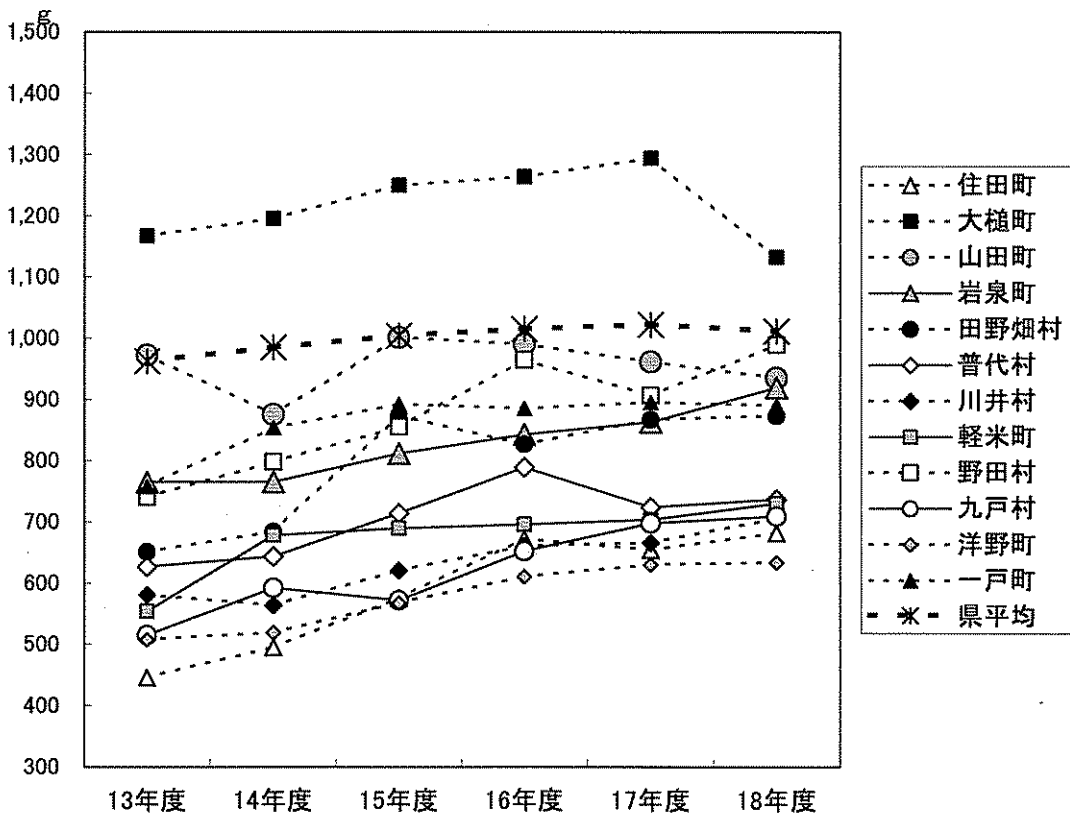


図-3(2) 市町村の一人1日当たり排出量の推移



13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度

図-3(3) 市町村の一人1日当たり排出量の推移

※ 17年度に合併のあった市町村については、合併前の旧市町村の実績値の合計により算定。

表一 各市町村の一人1日当たり排出量 (平成18年度)

(排出量単位: g)

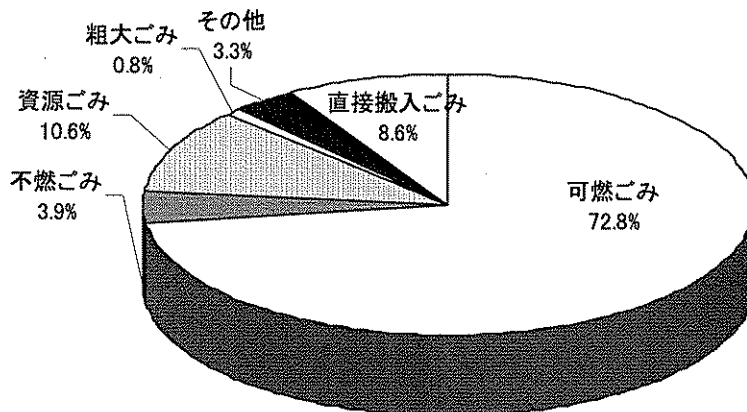
市部			町村部					
市名	排出量	前年度比	町村名	排出量	前年度比	町村名	排出量	前年度比
盛岡市	1,242	△ 0.8	雫石町	1,109	△ 1.1	岩泉町	920	6.6
宮古市	1,160	2.1	葛巻町	729	△ 4.4	田野畑村	874	0.8
大船渡市	926	△ 5.8	岩手町	763	△ 0.5	普代村	737	1.8
花巻市	1,051	△ 0.9	滝沢村	936	△ 0.1	川井村	705	5.9
北上市	907	0.3	紫波町	913	△ 0.1	軽米町	730	3.8
久慈市	1,058	4.4	矢巾町	1,323	6.1	野田村	989	9.1
遠野市	903	△ 5.8	西和賀町	709	△ 2.2	九戸村	709	1.6
一関市	825	△ 6.8	金ヶ崎町	750	1.7	洋野町	634	0.6
陸前高田市	924	△ 3.8	平泉町	778	2.2	一戸町	891	△ 0.5
釜石市	1,282	△ 1.7	藤沢町	510	1.6	県平均	1,013	△ 0.9
二戸市	1,119	0.3	住田町	682	4.2			
八幡平市	983	△ 0.3	大槌町	1,133	△ 12.5			
奥州市	894	△ 0.4	山田町	936	△ 2.7			

(5) 平成18年度のごみの種別は、可燃ごみが最も多く、全体の約73%。可燃ごみ以外では、資源ごみが約11%、不燃ごみと粗大ごみで約5%。平成18年度と14年度を比較すると、可燃ごみと資源ごみが増加し、不燃ごみは減少。

表一 3 ごみの種別の推移

(単位: トン、%)

	14年度		15年度		16年度		17年度		18年度	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
可燃ごみ	344,878	70.5	353,092	71.2	355,870	71.7	359,849	72.6	354,988	72.8
不燃ごみ	26,168	5.3	25,678	5.2	21,469	4.3	19,925	4.0	19,054	3.9
資源ごみ	47,366	9.7	48,925	9.9	48,074	9.7	52,128	10.5	51,538	10.6
粗大ごみ	3,417	0.7	4,310	0.9	4,056	0.8	3,981	0.8	3,992	0.8
その他	19,615	4.0	18,954	3.8	18,327	3.7	17,565	3.5	16,161	3.3
直接搬入ごみ	47,757	9.8	45,275	9.1	48,530	9.8	42,321	8.5	41,852	8.6
合計	489,201	100.0	496,234	100.0	496,326	100.0	495,769	100.0	487,585	100.0



図一 4 平成18年度のごみの排出割合

## 2 ごみの処理状況

- (1) 平成18年度の各市町村等におけるごみ処理の状況を合計すると、ごみの量の約80%の385千トンが直接焼却、約5%の27千トンが直接リサイクル、約1%の3千トンが直接最終処分。約14%の69千トンは、選別、圧縮、破砕などを行う中間処理施設に搬入され、資源化の後、その残渣は焼却や埋立処分。

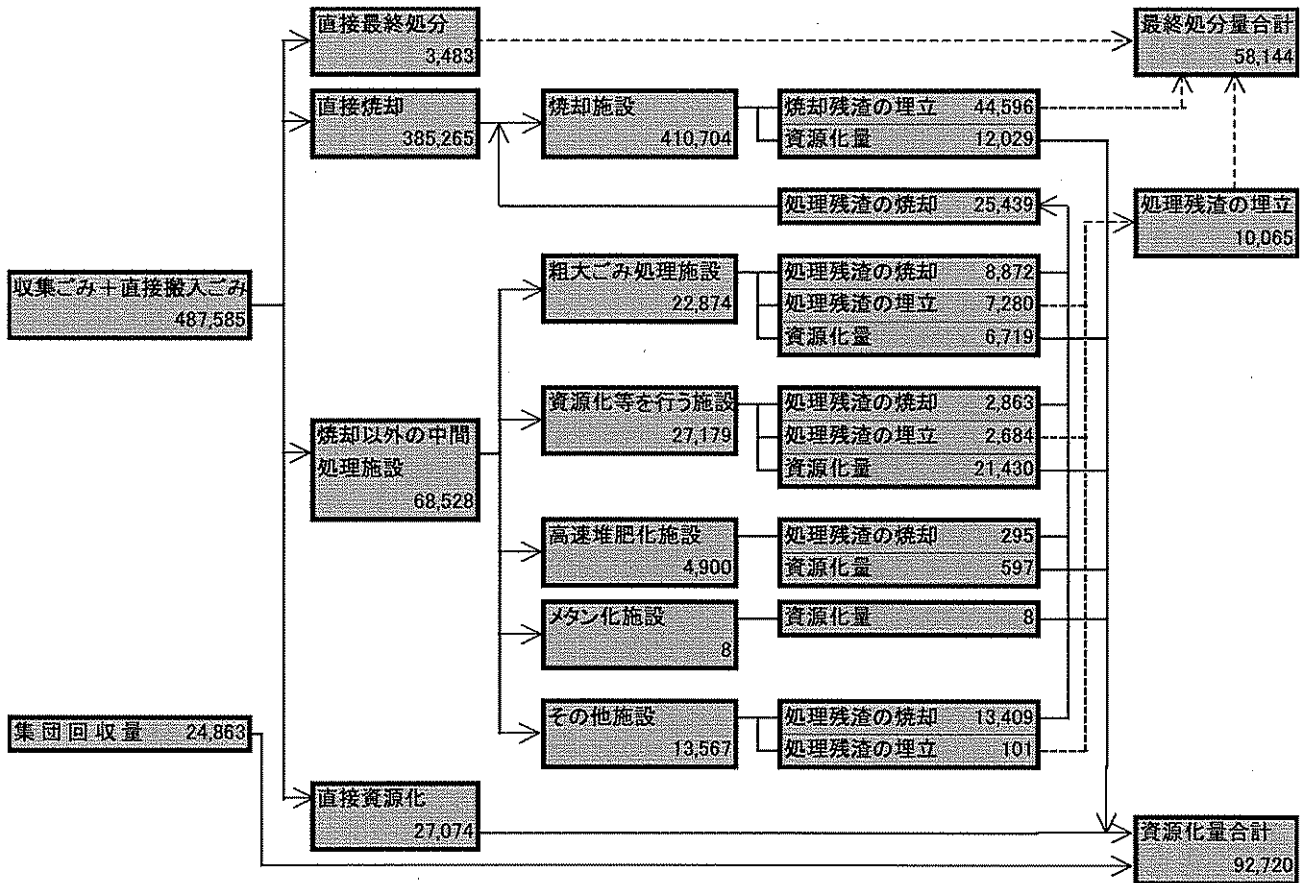


図-5 ごみの処理のフロー (単位: トン)

- (2) 焼却量は、411千トンで減少に転じた。最終処分量は58千トンで毎年度減少。なお、埋立されたごみの量58千トンは、岩手県庁舎の約1杯分に相当(埋立ごみの比重0.8t/m<sup>3</sup>として算出)。

資源化量は増加したものの頭打ち状況(1%増加)。一人当たりに換算すると年間約67kgがリサイクル。リサイクル率は18.2%で17年度から0.7ポイント増。

焼却量(焼却後に資源化された量を除く。)と最終処分量(焼却残渣の埋立処分量を除く。)の合計量は、412千トンで前年度から2.9%減、一人1日当たりの量は815gと前年度から17g減少。

表-4 ごみ処理の推移

	13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
総集人口(人)	1,424,670	99.7	1,419,278	99.6	1,412,235	99.5	1,406,071	99.6	1,397,240	99.4	1,386,378	99.2
世帯数	484,221	101.6	486,687	100.5	489,330	100.5	491,538	100.5	483,911	98.4	497,594	102.8
ごみ排出量(t)	500,681	100.7	510,448	102.0	519,185	101.7	521,154	100.4	521,499	100.1	512,448	98.3
一人1日ごみ排出量(g)	963	100.9	985	102.3	1,004	101.9	1,015	101.1	1,023	100.7	1,013	99.1
焼却量計(t)	398,899	102.1	403,316	101.1	413,322	102.5	414,933	100.4	418,190	100.8	410,704	98.2
直接焼却(t)	377,604	102.5	378,457	100.2	385,663	101.9	389,103	100.9	392,369	100.8	385,265	98.2
中間処理施設残渣(t)	21,295	95.3	24,859	116.7	27,659	111.3	25,830	93.4	25,821	100.0	25,439	98.5
最終処分量計(t)	73,378	96.9	71,740	97.8	65,747	91.6	62,042	94.4	60,333	97.2	58,144	96.4
直接最終処分(t)	12,966	84.5	12,495	96.4	7,604	60.9	5,600	73.6	5,006	89.4	3,483	69.6
中間処理施設残渣(t)	13,369	83.7	12,956	96.9	12,628	97.5	11,425	90.5	11,280	98.7	10,065	89.2
焼却施設残渣(t)	47,043	105.9	46,289	98.4	45,515	98.3	45,017	98.9	44,047	97.8	44,596	101.2
直接資源化量+中間処理後再生利用量(t)	53,973	106.7	60,967	113.0	68,438	112.3	68,749	100.5	65,724	95.6	67,857	103.2
集団回収量(t)	22,054	99.3	21,247	96.3	22,951	108.0	24,828	108.2	25,730	103.6	24,863	96.6
資源化量計(t)	76,027	104.4	82,214	108.1	91,389	111.2	93,577	102.4	91,454	97.7	92,720	101.4
リサイクル率(%)	15.1	103.4	16.0	105.6	17.6	108.7	18.0	102.0	17.5	98.2	18.2	104.0
焼却処理・埋立処分量(t)	420,496	100.4	422,855	100.6	423,275	100.1	422,237	99.8	424,546	100.5	412,223	97.1
一人1日処理量(g)	811	100.8	818	100.8	819	100.2	823	100.4	832	101.1	815	98.0

※ 用語の定義を国に合わせ修正

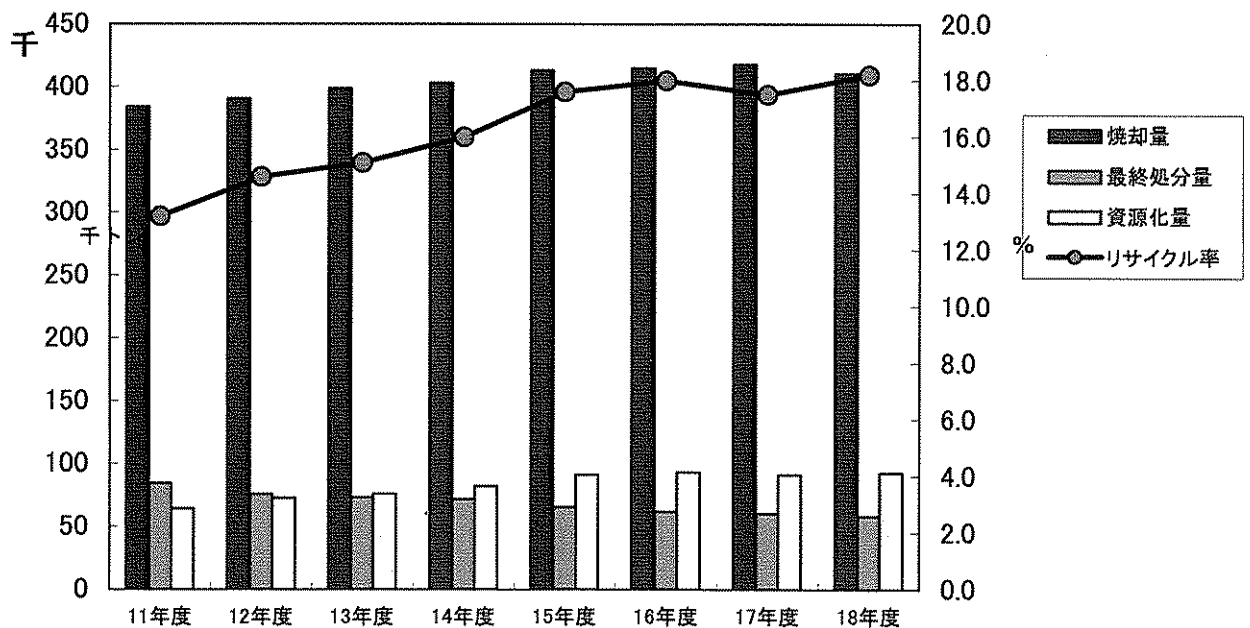


図-6 ごみの処理の推移

(3) リサイクル率と一人当たりの年間資源化量は、各市町村の間では大きな差がある。リサイクル率の場合、最も高い市町村が39.2%、最も低い市町村が10.6%、一人当たりの年間資源化量では、最も多い市町村が125.3kg、最も少ない市町村が20.6kg。

表-5 各市町村のリサイクル率と一人当たり年間資源化量（平成18年度）

（一人当たり資源化量単位：kg/年）

市 部			町 村 部					
市名	リサイク ル率	1人当たり 資源化量	町村名	リサイク ル率	1人当たり 資源化量	町村名	リサイク ル率	1人当たり 資源化量
盛岡市	16.0	72.2	雫石町	20.1	81.4	岩泉町	28.0	94.1
宮古市	14.1	59.7	葛巻町	28.2	75.0	田野畑村	15.0	48.0
大船渡市	22.7	76.8	岩手町	15.6	42.7	普代村	12.6	33.9
花巻市	16.9	64.6	滝沢村	39.2	115.7	川井村	16.0	41.1
北上市	22.6	74.8	紫波町	28.6	94.9	軽米町	16.4	43.8
久慈市	11.6	44.7	矢巾町	23.4	112.5	野田村	10.6	38.3
遠野市	19.4	64.1	西和賀町	18.7	48.4	九戸村	11.3	29.2
一関市	12.3	36.9	金ヶ崎町	24.3	66.4	洋野町	15.5	35.9
陸前高田市	17.5	58.8	平泉町	18.8	52.4	一戸町	16.7	54.4
釜石市	26.8	125.3	藤沢町	11.2	20.6	県平均	18.2	66.9
二戸市	15.8	64.4	住田町	28.5	70.8			
八幡平市	15.3	54.7	大槌町	18.3	76.0			
奥州市	17.2	56.2	山田町	12.0	41.1			

※ 17年度に合併のあった市町村については、合併前の旧市町村の実績値の合計により算定。

表-6 各市町村のリサイクル率の推移

リサイクル率 の水準	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
35%以上			西和賀町 37.2	西和賀町 38.0		滝沢村 39.2
30~35%	住田町 32.6	住田町 30.0				
25~30%	紫波町 25.3 九戸村 25.0		金ヶ崎町 28.6 住田町 27.3	葛巻町 29.5 紫波町 27.8 金ヶ崎町 27.6 住田町 26.1 滝沢村 25.3	葛巻町 29.1 住田町 28.0 紫波町 26.9 滝沢村 25.9	紫波町 28.6 住田町 28.5 葛巻町 28.2 岩泉町 28.0 釜石市 26.8
20~25%	遠野市 24.2 葛巻町 23.2 大船渡市 23.1 岩手町 21.8 一戸町 21.7 北上市 21.3 金ヶ崎町 21.2 釜石市 20.8	洋野町 24.4 金ヶ崎町 23.9 遠野市 22.3 大船渡市 21.5 釜石市 21.2 遠野市 20.9 葛巻町 20.9 北上市 20.5	滝沢村 24.6 紫波町 24.4 釜石市 23.7 矢巾町 22.7 遠野市 22.0 大船渡市 21.8 北上市 21.6	釜石市 23.8 矢巾町 22.8 北上市 22.4 大船渡市 21.9 岩泉町 21.4 遠野市 21.0 岩手町 20.1	金ヶ崎町 24.9 釜石市 24.8 岩泉町 23.6 矢巾町 22.5 大船渡市 21.5 北上市 21.4 西和賀町 20.5	金ヶ崎町 24.3 矢巾町 23.4 大船渡市 22.7 北上市 22.6 雫石町 20.1
15~20%	軽米町 19.2 洋野町 18.9 矢巾町 18.5 藤沢町 18.0 花巻市 17.8 奥州市 17.5 西和賀町 17.0 二戸市 16.4 野田村 15.3 県平均 15.1	九戸村 19.9 西和賀町 19.8 紫波町 19.7 岩手町 18.9 花巻市 17.9 一戸町 17.3 滝沢村 17.2 矢巾町 17.2 二戸市 16.9 岩泉町 16.9 八幡平市 16.9 藤沢町 16.7 陸前高田市 16.2 奥州市 16.1 県平均 16.0 軽米町 16.0	葛巻町 19.7 洋野町 19.3 平泉町 19.3 岩手町 17.6 大槌町 17.6 県平均 17.6 花巻市 17.5 大槌町 17.5 軽米町 17.2 奥州市 17.2 二戸市 17.1 一関市 16.9 岩泉町 16.7 一戸町 16.7 陸前高田市 16.4 雫石町 15.8	平泉町 19.3 雫石町 18.8 山田町 18.1 洋野町 18.0 県平均 18.0 花巻市 17.9 大槌町 17.8 軽米町 17.7 一戸町 16.8 奥州市 16.7 一関市 16.6 二戸市 16.5 陸前高田市 16.3 盛岡市 15.1	雫石町 19.3 遠野市 18.7 平泉町 18.3 県平均 17.5 一関市 17.4 県平均 18.2 軽米町 16.9 一戸町 16.7 大槌町 16.6 岩手町 16.6 洋野町 16.1 奥州市 16.0 陸前高田市 15.9 二戸市 15.8 花巻市 15.8 八幡平市 15.4 盛岡市 15.4	遠野市 19.4 平泉町 18.8 西和賀町 18.7 大槌町 18.3 県平均 18.2 陸前高田市 17.5 奥州市 17.2 花巻市 16.9 一戸町 16.7 軽米町 16.4 川井村 16.0 盛岡市 16.0 二戸市 15.8 岩手町 15.6 洋野町 15.5 八幡平市 15.3 田野畑村 15.0
10~15%	大槌町 14.8 普代村 14.2 一関市 13.9 川井村 13.3 陸前高田市 13.1 雫石町 12.1 久慈市 12.1 滝沢村 11.8 盛岡市 11.6	大槌町 14.8 平泉町 14.5 盛岡市 14.1 野田村 13.4 一関市 13.4 普代村 13.0 宮古市 12.6 久慈市 12.4 雫石町 12.0	八幡平市 14.9 盛岡市 14.8 野田村 14.4 普代村 13.9 山田町 13.9 九戸村 13.9 藤沢町 13.4 久慈市 13.0 宮古市 12.5	八幡平市 14.4 宮古市 13.2 九戸村 13.0 藤沢町 12.9 久慈市 12.6 野田村 12.2 普代村 12.1 田野畑村 11.7	宮古市 13.7 田野畑村 13.5 普代村 13.1 野田村 12.6 山田町 12.6 藤沢町 12.3 久慈市 12.1 九戸村 11.6	宮古市 14.1 普代村 12.6 一関市 12.3 山田町 12.0 久慈市 11.6 九戸村 11.3 藤沢町 11.2 野田村 10.6
10%未満	岩泉町 9.4 八幡平市 8.7 宮古市 8.7 山田町 7.5 平泉町 7.1 田野畑村 6.6	川井村 7.2 田野畑村 5.6 山田町 3.5	田野畑村 9.5 川井村 9.4	川井村 9.4	川井村 9.9	

### 3 ごみ処理の経費

- (1) 平成 18 年度に市町村と一部事務組合がごみ処理に要した経費（市町村から一部事務組合への負担金は含まない。）を合計すると、143 億 4 千万円。このうち処理施設や設備の建設・改良に要した経費は 13 億円、処理及び維持管理費に要した経費は 129 億 1 千万円。なお、処理及び維持管理費に要した経費を一人あたりに換算すると、年間 9,312 円。
- (2) ごみ袋（45 リットル）に 10 kg のごみを入れて排出されると仮定した場合、ごみ袋 1 個当たりの処理費用は約 265 円と試算。
- (3) ごみ処理経費の推移をみると、ダイオキシン類対策として焼却施設の新設・改良が平成 14 年度までで完了したことから、建設改良費は、15 年度、16 年度に大きく減少。また、これまで増加が続いていた処理及び維持管理費も 16 年度以降横ばい。

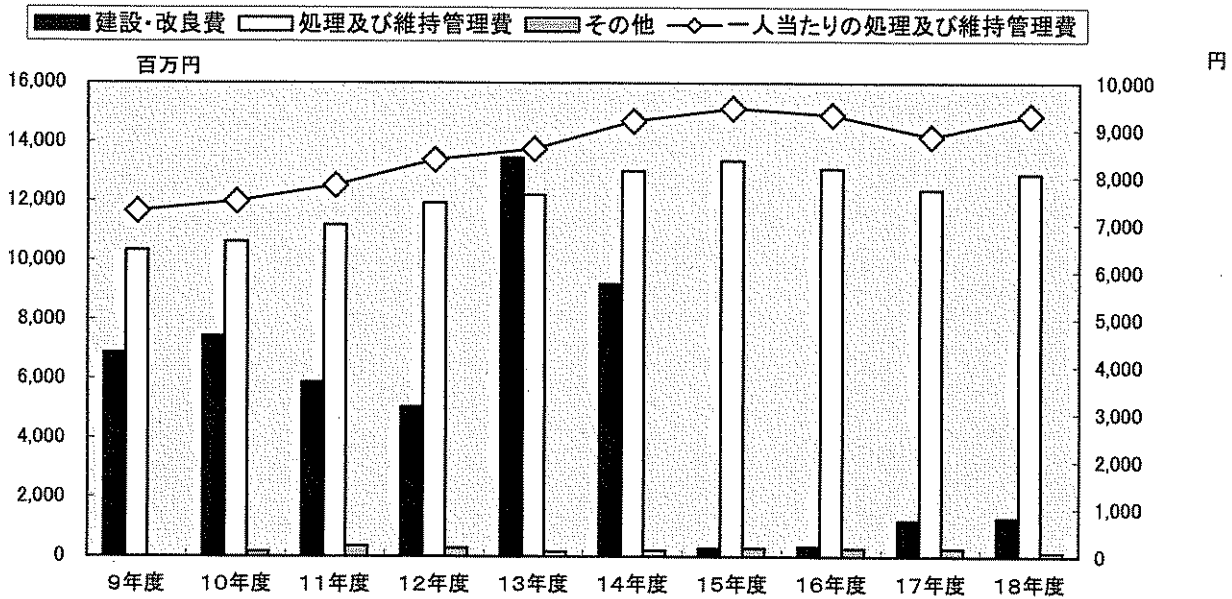


図-7 ごみ処理経費の推移

表-1 ごみ処理経費の推移

(経費：千円、前年比：%)

	14年度		15年度		16年度		17年度		18年度	
	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比	経費	前年比
建設改良費 (千円)	9,201,417	68.3	285,119	3.1	337,615	118.4	1,207,987	357.8	1,297,891	107.4
処理及び維持管理費 (千円)	13,025,229	106.6	13,362,479	102.6	13,102,071	98.1	12,385,092	94.5	12,909,650	104.2
その他 (千円)	207,186	123.9	286,684	138.4	271,754	94.8	275,683	101.4	129,971	47.1
合計 (千円)	22,433,832	86.8	13,934,282	62.1	13,711,440	98.4	13,868,762	101.1	14,337,512	103.4
収集人口	1,416,939	99.8	1,411,331	99.6	1,405,579	99.6	1,397,240	99.4	1,386,378	99.2
一人当たり処理及び維持管理経費	9,193円	106.9	9,468円	103.0	9,321円	98.4	8,864円	95.1	9,312円	105.1



# し尿

## 1 し尿の処理状況

(1) 平成 18 年度のし尿の処理量は、汲取りし尿が 533 千キロリットル、浄化槽等汚泥 125 千キロリットルで、計 658 千キロリットル。自家処理と併せたし尿処理量は 662 千キロリットル。

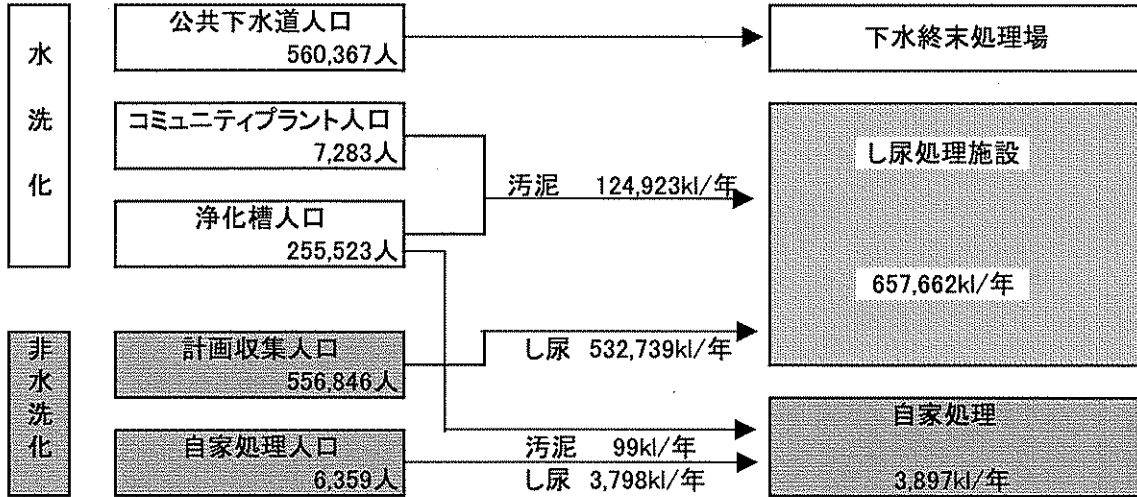
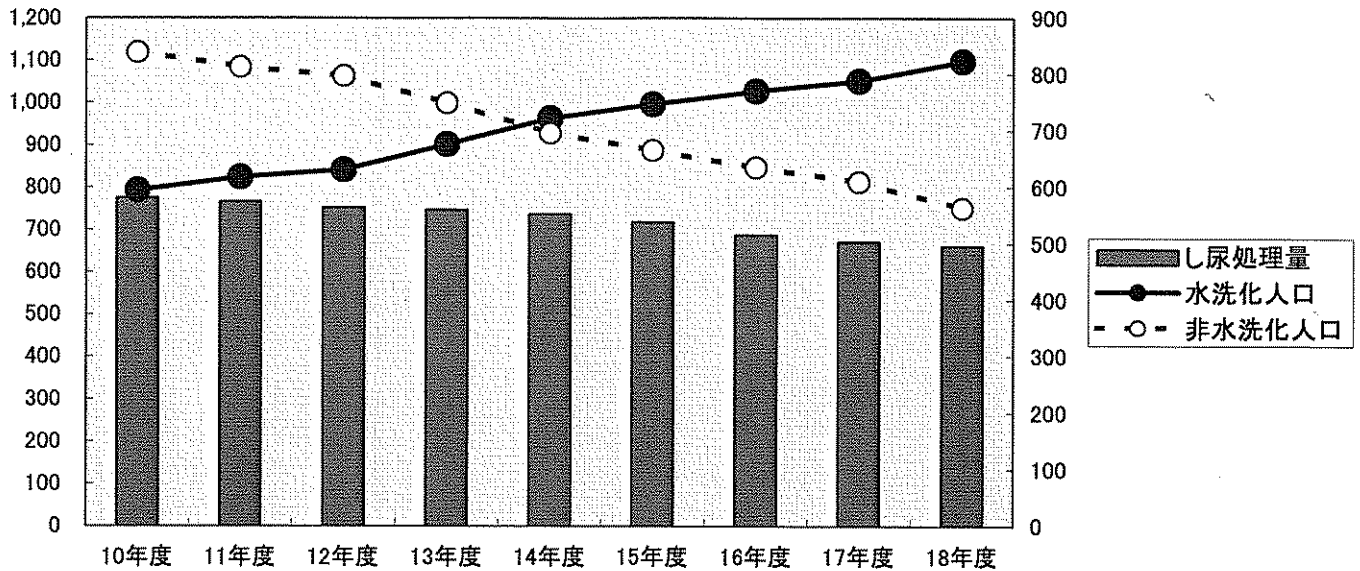


図-8 し尿処理のフロー

(2) 浄化槽の普及により浄化槽汚泥の処理量が増加しているが、公共下水道の整備により水洗化が進んだことにより、汲取りし尿の処理量が減少し、合計のし尿の処理量は減少が継続。

表-8 し尿処理の系統及び処理量の推移

	14年度		15年度		16年度		17年度		18年度	
	人口(人)	構成量(kl) %	人口(人)	構成量(kl) %	人口(人)	構成量(kl) %	人口(人)	構成量(kl) %	人口(人)	構成量(kl) %
人口	1,419,278	100.0	1,412,235	100.0	1,406,071	100.0	1,397,240	100.0	1,386,378	100.0
水洗化人口	722,829	51.2	746,885	53.1	770,846	55.2	788,034	56.4	823,173	59.4
公共下水道	482,357	34.2	507,131	36.1	527,304	37.7	536,661	38.4	560,367	40.4
コミュニティプラント	9,830	0.7	8,395	0.6	8,028	0.6	10,162	0.7	7,283	0.5
浄化槽	230,642	16.3	231,359	16.5	235,514	16.9	241,211	17.3	255,523	18.4
非水洗化人口	696,449	49.3	665,350	47.3	635,225	45.5	609,206	43.6	563,205	40.6
計画収集人口	680,047	48.2	652,102	46.4	624,625	44.7	601,207	43.0	556,846	40.2
自家処理人口	16,402	1.2	13,248	0.9	10,600	0.8	7,999	0.6	6,359	0.5
し尿処理量	736,207	100.0	717,041	100.0	687,366	100.0	671,336	100.0	661,559	100.0
し尿処理施設	722,288	98.1	704,245	98.2	678,557	98.7	665,674	99.2	657,662	99.4
汲み取りし尿	619,939	84.2	596,782	83.2	569,561	82.9	554,224	82.6	532,739	80.5
浄化槽汚泥	102,349	13.9	107,463	15.0	108,996	15.9	111,450	16.6	124,923	18.9
自家処理	13,919	1.9	12,796	1.8	8,809	1.3	5,662	0.8	3,897	0.6



図一 9 し尿処理量と水洗化（非水洗化）人口の推移

(3) し尿の処理は、複数の市町村で構成された一部事務組合又は広域連合で実施。各組合等の処理量の推移は次のとおり。

表一 9 し尿処理施設ごとの処理量

(単位：千リットル)

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
久慈地区広域行政事務組合	46,311	46,431	45,860	43,955	43,537	43,758
二戸地区広域行政事務組合	41,146	40,518	39,990	38,118	37,629	37,013
盛岡北部行政事務組合	44,052	43,493	42,315	41,015	40,216	39,203
盛岡地区衛生処理組合	62,428	60,999	58,556	54,523	51,382	49,592
紫波・稗貫衛生処理組合	53,226	52,475	49,010	49,822	47,485	47,682
北上地区広域行政組合	107,685	105,700	101,991	96,337	93,680	90,260
遠野市(遠野地区厚生施設組合)	22,569	22,598	22,091	21,574	21,863	21,592
胆江地区広域行政組合	95,720	95,803	91,886	88,362	85,111	84,902
一関地方衛生組合	66,346	67,719	66,827	65,931	64,019	100,471
東磐環境組合	35,899	36,789	37,262	35,766	35,301	
宮古地区広域行政組合	64,477	62,108	61,652	59,269	58,013	58,557
気仙広域連合	52,453	53,133	53,092	52,514	51,123	52,343
釜石大槌地区行政事務組合	35,866	34,668	34,566	33,176	32,473	32,289

※遠野地区厚生施設組合は、平成17年10月の遠野市と宮守村の合併により解散。

※一関地方衛生組合と東磐環境組合は、平成18年4月に「一関地区広域行政組合」に統合。

## 2 し尿の処理経費

(1) 平成18年度に市町村と一部事務組合等がし尿の処理に要した経費(市町村から一部事務組合への負担金は含まない。)を合計すると、65億5千万円。このうち処理施設や設備の建設・改良に要した経費は21億8千万円、処理及び維持管理費に要した経費は43億1千万円。なお、処理及び維持管理費に要した経費を一人当たり換算すると、年間7,735円。

表一 10 し尿の処理経費の推移

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
建設改良費(千円)	127,370	182,389	915,652	2,969,762	1,093,414	2,175,656
処理及び維持管理費(千円)	4,942,695	4,986,760	4,759,608	4,493,906	4,356,344	4,309,872
その他(千円)	135,955	91,026	92,008	104,483	98,024	65,400
合計(千円)	5,206,020	5,260,175	5,767,268	7,568,151	5,547,782	6,550,928
計画収集人口(人)	724,033	680,047	652,102	624,625	601,207	556,846
一人当たり処理及び維持管理費(円)	6,827	7,333	7,299	7,195	7,246	7,740